



ESD
17の目標を自由研究に

17の目標を自由研究に

2015年9月に国連のサミットで採択された持続可能な開発目標「SDGs」。みなさんもよく耳にするのではないのでしょうか。持続可能な未来のために、貧困や教育、人権、環境など、さまざまな分野に関する17の目標「ゴール」とそれを実現するための

169の小目標(ターゲット)があり、各国が2030年までに達成することを目指しています。誰一人おきりにしない」が基本的な考えです。まずは自分の周りにどんな課題があるのか、探ってみましょう。気づくことが出発点です。そしてその課題を解決するために、私たちにできることを考えてみましょう。今回の特集号では、主に食料問題、気候変動、平和に関する目標「12」「13」「16」の3つの視点から、それぞれの問題に、わしかつり、取り組んだりしている人たちに今の状況を解説してもらいました。そして、みなさんに調べたり考えたりしてほしいことも挙げてもらいました。実は、17の目標は互いに関連

2021年7月6日付13面

【課題】SDGs(持続可能な開発目標)の視点を活かした自由研究について、取り組み例を示しました。以下の取り組み例に従って、自由研究を進めてみましょう。

[1] 17の目標の内容を次の文章の()にあてはめてみる。

なぜ()という目標が定められたのだろうか。

(例)なぜ(飢餓をゼロに)という目標が定められたのだろうか。

[2] 1の文章に対する「自分の予想」をまとめてみましょう。

○ 1の(例)に対する自分の予想 → 飢餓が世界中に広がっているから

[3] 2の予想から課題を設定し、情報を収集してまとめてみましょう。

課題設定1:世界のどこで飢餓が住んでいるのだろうか。 課題設定2:飢餓は何が原因で起こっているのだろうか。

[4] まとめたものをもとに、飢餓をなくすために自分たちでできることは何かを考えまとめてみましょう。

まとめた内容は学級や学年で発表会を開き、お互いの研究成果を通して学習を深めてみましょう。

